

令和6年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立馬込東中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・自然現象を視覚的に捉えるため ICT 機器の効果的な活用や科学に関する話題・ニュース等を積極的に取り上げた授業展開をすることにより、主体的に学習に取り組む態度を維持・向上させることができた。
- ・基礎的な用語や結果の理解、基本的な計算の仕方など、既習事項についての復習を定期的に行うことにより、自然事象についての知識・技能を定着させることができた。
- ・実験結果の考察とその理由を積極的に問うことで観察力や推察力を高めることができた。

(2) 課題

- ・1学年は、元気のよい学年で授業中の発言は非常に活発である。発問に対しての反応もよいが、授業規律が乱れていかなないように注意していかなくてはならないと感じる。
- ・2学年は、実験を行い、興味・関心を高め、実験を考察することで思考・判断・表現を高めていく。小テスト等も実施し、基礎・基本の定着を図っていく。
- ・3学年は、小テスト等を繰り返し実施することによって重要用語の知識・技能や基本的な計算力を高め、反復学習を徹底して知識等の定着を図る必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第1学年	目標値に対し、知識・技能で1.8ポイント下回り、他の観点では6.0～7.9ポイント上回った。正答率は2.2ポイント上回っている。		
第2学年	目標値に対し、全ての観点で2.7～5.4ポイント下回り、正答率も4.7ポイント下回っている。	目標値に対し、全ての観点でほぼ同じ～4.3ポイント上回り、正答率も2.8ポイント上回っている。	
第3学年	目標値に対し、知識・技能の観点で4.4ポイント上回っているが、他の観点で5.9～7.5ポイント下回っている。	目標値に対し、全ての観点で2.1～5.4ポイント上回り、正答率も4.0ポイント上回っている。	目標値に対し、全ての観点で1.7～3.4ポイント上回り、正答率も2.5ポイント上回っている。

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値に対し、1.8ポイント下回っているが、区平均や全国平均は上回った。	目標値に対し、7.9ポイント上回っている。科学的な見方で自然現象を考察する力が身に付いている。	目標値に対し、6.0ポイント上回っている。自然現象を身近に捉え、主体的に学習に取り組もうという姿勢をさらに高めていく。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値に対し、5.4ポイント下回っている。領域別でみると生命分野が最も低く、8.9ポイント下回っている。1年生で一番最初に行うところが生命分野であるため、基本的な知識などを忘れてしまっている可能性が考えられる。	目標値に対し、3.8ポイント下回っている。科学的な見方で自然事象を考察する力に課題が見られる。	目標値に対し、2.7ポイント下回っているが、区平均と全国平均には4.1ポイント上回った。学習に対して諦めている生徒が見られる。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値に対し、4.4ポイント上回っている。基本的な知識や実験・観察をする技能、器具の操作方法などが身に付いている。	目標値に対し、5.9ポイント下回っている。科学的な見方で自然事象を考察する力に課題が見られる。	目標値に対し、7.5ポイント下回っている。自然現象を身近に捉え、主体的に学習に取り組む力に課題が見られる。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元別の小テストや授業プリントを使い、知識・技能の定着を行っていく。	自分の意見を考え、班で話し合い活動を行い、発表することが出来る。今後も実験後に考察させ、発表することで思考・判断・表現の力を身に付けさせていく。	授業中は積極的に発言する生徒が多くいる。提出物に関してもきちんと提出しようとしている。今後も継続させていく。

（2）第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
教科書や板書の理解が難しい単元では、プレゼンテーションソフト等のICTを活用する。タブレットも積極的に活用し、視覚的に分かりやすい授業を行う。	教科書に載っている実験は全て行う。実験をただやるだけではなく、問題を見いだしたり、見通しをもって課題や仮説の設定をしたり、次の課題の発見をさせていく。そのために話し合いの場を多く設けていく。考察や発表などに多くの時間を使い、思考・判断・表現の力を高めていく。	科学に関するニュースや話題などを授業の中で取り上げていく。実験では自然現象に疑問をもたせ、理科嫌いをなくしていく。デジタル教科書などで動画などを見せ、興味・関心を高めていく。

（3）第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業で使ったプリントやレポートをノートに整理・保管させ、学習内容の振り返りをしやすい環境をつくる。定期考査前や長期休業期間は課題等で反復学習を促し、既習事項の定着を図る。また、多くの観察・実験を行い、ICT機器を積極的に授業に取り入れ、視覚的・体験的	観察・実験を中心とした授業を行い、レポートに結果をまとめて科学的に考え、わかりやすく表現する力を育てる。実験のまとめを行う授業では、班やクラス全体で自分の考えを発表する機会を増やす。また、実験を中心とした文章問題に取り組み、話し合い活動	デジタル教科書、プレゼンテーションソフト等のICT機器を積極的に活用した指導を展開する。また、科学に関する話題・ニュース等を取り上げ、自然事象に関心をもち、より身近に捉えることができるような指導を展開する。また、実験レポートや定期考査によ

に実験操作を確認できる授業を展開する。	を行うことで、科学的な思考力を育成する。	って、自己の学習を意欲的に進める力を育てる。
---------------------	----------------------	------------------------